

コロナ禍の終息と未来

黒田インターナショナル

黒田 毅

これらは明らかに革命的現実を世界へ与えたのである。これらは大衆の反乱であり、これら革命は現実を変化させたのである。大衆の判断は必ず正しいのである。これは永遠の法である。

これらは大衆が声を上げたと考えるのが正しい。大衆が現実へ従属することからの蜂起は、明らかに革命である。

これらの奇妙なところは、世界の欺瞞や偽善へ向かうのでなかったことである。コロナという環境がそれを与えなかったことも正しいのであろう。

これらが真実であるならば、コロナ禍の終息は、大衆が新しい未来へ歩むことを現実とする。これらは、既存の過去との決別であり、大衆の蜂起における新しい世界の創造である。

新しい技術文明は新しい社会と生活の創造を有し、これら2つの現実は、未来への扉をくぐることに、予測を有することがないのである。

これらは世界の挑戦であり、未だ答えを有することがない。これらは若者が世界へ反乱することがすべての世代において与えられたと考えるのが正しいのであろう。

これらは既知から未知への転換であることは正しいのであろう。これらは明らかに世界が新しい未来へ進むことであり、人々の反乱は、どのように収束するか予測できないのである。

政治のプレゼンスは、大衆の要求を達成できるのであろうか。これら抑圧性の枠出は、解決の糸口を得ないと考えるべきである。これはすべての個人は自己に従い生きることへの反乱であるならば、既存の世界は完全に崩壊しなくてはならない。